

## グループホーム パインの里

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

・自己評価 令和4年9月15日

・運営推進会議で話しあった内容(書面) 令和4年11月28日

・外部評価(書面) 令和4年2月

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・見える所に掲示しており、朝のミーティング等に唱和し合い実践しようと努めている、異動した職員もおり理念の説明や共有の最中である。			・唱和する機会が減ったので、朝のミーティング時に声に出して意識するようにします。 ・地域との繋がりを理念にも掲げているので直接関りが出来なくても形や方法を変えて対応したい。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	・コロナの影響でまだまだ日常的な交流が出来ないが、近状報告がてら交流施設に出向いた。	・書面で行った会議の報告書も頂きたい。 ・日常的に出来る範囲内で対応し交流している。		・あいさつ回りなどをして繋がりが途切れないようにしてきたので、今後も継続して制限されていた交流も再開できるようにしていきたい。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・開催できる時は行ない、開催できない時は書面で意見をもらう形をとり、サービスの向上に努めた。	・多様な意見があって出来る事から活かしてサービス向上に努めている。 ・今の状況では書面での対応でも良いと考える。		・会議が中止になった時にも書面で報告し、地域の方やご家族、市の職員からの意見や助言はサービス向上に大切であった。今後も会議の開催をし沢山の意見を頂きたい。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	・包括とは連携がとれており、緊急入所が必要なケースを受け入れることができ、協力関係が築けている。 ・市町村担当者とはあまり密な連絡を取ることがなかった	・包括の方でも必要時空き状況等を確認し、協力を求める事もある。 ・市町村との連携体制は出来ているが密な連絡は出来ていなかったと思う。 ・包括を通して市町村との繋がりの関係であれば市町村担当者と直接連絡をとる機会が無いのは当然かもしれない。		・法人内に包括支援センターがあるので上手く活用し、連絡を取り合い相談している。これからも、その繋がりを継続していく。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・定期的に研修や勉強会を行ないながら、意識の再確認を行なっている。 ・言葉による拘束や制限が聞かれることもある。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・不適切なケアを無くすようにどんな時にどんな言葉になりやすいか？等を職員で話し合う場を作り、意識し合う。 ・職員の意思の再確認は充実し。個々人に対してはプロ意識を持って感情移入に十分注意する事が大切であると意見を頂く。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・定期的に勉強会や研修を行い情報を共有して理解を深め、上司にも報告をする体制が出来ている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・仕事が忙しかったり、心に余裕がない時にスタッフの言動がきつくなりやすいので、スタッフ間で声を掛け合いでストレスを溜めないよう、助け合う。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ほぼできている D. ほとんどできていない	・制度をまとめた資料や学ぶ機会もあり、積極的な活用には至っていない。			・なかなか活用する機会がないので、来年度の GH 合同勉強会に計画を立てた。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ほぼできている D. ほとんどできていない	・契約時説明に時間をかけゆっくり話しやすい環境作りにも努めている。 ・面会時にも意見を求めている。			・契約時、サービスを利用する前に不安や疑問点を解決し、お互い理解し合っているし、途中でも不安や疑問点を聞き出すようにしている。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ほぼできている D. ほとんどできていない	・面会時や個別面談時に意見、要望を頂き事業や計画等にも反映している。 ・法人の理事会を通して苦情・意見・要望を報告している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・面会時や個別面談、又はケアプラン見直し等に要望や意見をもらっている。苦情等も理事会で報告している。 ・現状の元では最善を尽くして居ると思うと意見を頂く。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ほぼできている D. ほとんどできていない	・会議、ミーティング、個別面談で機会があり、意見や提案が聞かれるが、運営に関する内容は少ない。			・些細な会話の中からも職員の意見や提案を聞くようにしている。会議の機会が今後増えて来ると思うので、意見や提案を聞きだしたい。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職場環境や条件の整備に努めており、常に働きやすさを考えている。 ・コロナ感染対策で全事業所の職員が協力体制があり、助け合うことができていた。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・半年に1度、自己評価・人事考課・育成面談を実施し、全ての内容を法人理事長が目を通し、職員個人の能力や実績の把握に努めている。育成面談の中で将来はどのような職員になりたいかを明確にする機会を設けている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・オンラインを上手く活用し研修を受ける機会の確保がされている。 ・外部研修を受ける機会が減ったが、必要と思われる研修は受けるように法人に相談し、オンライン研修を受けた。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職場内研修は毎月実施、ユニット内勉強会や GH 合同勉強会も実施している。外部研修が減ったが必要な研修はオンラインにて受講している。 ・今後は外部研修の参加も増えると思うので、きちんと復命し全職員が知識として習得していく。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・なかなか機会が無かったので、包括主催の会議や研修会に参加させてもらうようにこちらから声を掛けていきたい。			・以前から包括支援センター主催の研修会や事例検討等の場を設けて頂き、GHに限らず様々な医療や福祉、警察、薬局、地域とのネットワーク作りの一員として引き続き参加させて行きたい。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者様それぞれに役割があり、お互い助け合いながら生活ができています。			・里の利用者様も自立者も多くなり、作業の手伝いや色々な活動も可能になって来た。共に助け合いケアが出来る仲間作りになりつつある。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・まだ完全にコロナ前には戻れないが、会話にご家族や思い出の場所に関係する内容を提供した。	・コロナ禍の中で入居者様への思いを伝えるような内容を話している。 ・家族等の面会も機をみて柔軟に対応できるようにしていきたい。		・感染予防対策を取ながら、以前の様に行きたい所に行く、合いたい人に合える支援をして行きたい。
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・生活歴や生活習慣を参考にしたり、会話の中から希望や意向をくみ取るようにしている。 ・対話にて思いを把握努めるも本当の思いなのか苦慮する部分もある。			・なかなか自分からきちんとした言葉で希望や意向を伝えてくれる方はいない。会話の中や生活歴からご本人の思いや意向を探り、把握に努めている。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・本人、家族からも要望を聞き、役立てている。 ・デイサービス看護師や在宅時担当だったケアマネ、主治医にも意見をもらいながら作成している。	・多職種連携が取れていると思う。 ・必要な関係者と対話をして介護計画を作成し活用している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・今までの取り組みを継続し、GHスタッフのみではなく、関係する職域から意見を頂きアイデアを反映する。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・記録の他、申し送りノートを活用し、口頭での報連相を行い共有。 ・会話内容も細かく記入し、気づきに活用。 ・担当者会議にて見直しや情報共有出来ている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・せっかく作成した計画も反映されていない点があるので、出来た時点でケアプラン内容を周知するように計画作成担当者が実施する。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・個々に合った柔軟な対応は出来ていると思われる。買い物や通院介助等柔軟な対応ができています。	・個々の人の沿った接遇をしてサービスを提供している。		・里の良い点はワンステップで全ての事ができる事。特に通院は現場の職員が付添う事で情報は確実に伝わり共有も可能である。

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・自然やお祭りは楽しめるようにしたが、前回意見を頂いた地域資源のリスト化がまだできていない。	・新型コロナウイルス拡大防止の現状では地域資源と協働に制約があり悩ましいことから不十分だと感じる。		・市の事業資源は可能な限り利用している。観光の名所が沢山あるので、活用している。ボランティア活動はどのような物があるのかを把握していないので、リストアップし必要な時に活用出来たら良い。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・代理受診も活用しながら、適切な医療を受けられている。			・在宅で通い慣れていた病院をそのまま継続できるようにしているが、通院時間が長い場合は変更させてもらっている。ご本人の通院が必要な時以外はスタッフ代理で対応し、負担軽減や感染防止対策としている。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・お陰様で、入院するケースがなく、健康に生活が出来ていた。 ・そうなった場合は情報交換して早期退院に向けた働きかけをする事になっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・病院側と相談しながら、GHでの対応範囲を伝え早期の退院に繋がるように配慮した。環境が変わると急変するので、出来れば早い段階で退院してGHへ戻ってきてもらいたいが、高齢なので様々な病気を併発してしまう。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入所時に大まかな方向は決めているがその時々々の段階に合わせて話し合い、GHで可能な終末期ケア(医療行為ができない)の内容を説明している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入居時に大まかな方向性は決めている事は継続しつつ、定期的に今の状況や重度化になった時の対応、看取りのお話しなどもお互いに理解し共有したい。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・法人の看護師の協力もあり、対応し連携もとれている。 ・マニュアルも整ってはいるが確実に実践力が身についているとは言えない点もある。 ・自信が持てるようしっかりと訓練を受けたい。			・併設のデイサービス看護師を講師に急変時の対応を学び、実践力を身に付けている。避難訓練と同様、初動訓練を定期的実施していく。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・マニュアルに沿った行動がとれるように努めている。 ・8月大雨による災害で本部の特養に避難、デイや特養との協力体制ができていた。色々な課題もあり、今後活かすためにも改善	・今回の大雨による災害でケガ等なく無事に避難でき良かった。色々な意味で良い経験になったと思う。 ・8月の大雨によって避難し協力体制が出来ていたと思う、事故が無かったので幸いでした。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・災害時における事業継続が出来るようマニュアルを法人で作成し、夜間帯の方法は協力が必要なので、体制をしっかりと整えておく。里独自の事業継続計画(BCP)を令和6年3月31日までに策定が義務付けられている。

				できる所は行なっていきたい。	・実際に避難した得られた課題を確認し職員間で共有しておく事が大切だと思う。 ・避難する際の指標などを災害ごとに検討する事が必要だと感じる。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・それぞれ利用者様の性格や対応の仕方にも合わせながら行なった。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・尊厳を尊重し、それぞれ利用者様の個性や性格に配慮した言葉掛けをするよう工夫する。不適切なケアに繋がるので十分に注意する。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・日課や役割を無理強いせず、その日のペースやリズムに合わせている場合が多いが、職員側の決まりを優先する時もあり、利用者様に説明させてもらっている。			・まだまだ業務優先になりがち、利用者様主体のペースを大事にする支援を全職員で確実に見直したい。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・クックフリーズ方式に変更になり、利用者様の作業内容が減ったが、能力や意欲に合わせて提供、楽しみ生き甲斐が得られるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者様の得意な部分を発揮してもらいながら一緒に準備を継続中。可能な範囲で好みに合わせる事も出来ているので、このまま続けて行きたい。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・水分量、喫食量共によく観察している。情報共有して必要量の確保できるよう、体調も配慮しながら支援している。 ・食べやすい形や咽込みを防ぐような工夫もしている。			・水分量、喫食量共によく観察している。情報共有して必要量の確保できるよう、体調も配慮しながら支援を続ける。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・毎食後行う事が出来ている。 ・見守りや一部介助、全介助と個々に合わせた介助が出来ている。 ・毎食前には口腔体操を実施している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・口腔ケア加算も頂いているので、歯科医師の助言を参考に毎食後の口腔ケアを個々の能力に応じて介助し、口腔内の清潔保持をしている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・大体の排せつパターンを把握し、個々にあった排せつ用品、排せつリズムでトイレに誘導している。 ・便秘予防に水分を多めに飲用し		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・座位保持可能であれば、トイレに排せつしてもらっている。紙パンツから普通の下着にしたり自立支援している。 ・排せつ用品は利用者様負担になっているので、できるだけ費用の負担を少な

				たり、牛乳や乳製品等を提供している。			くなるようにも考慮しながら、自立に向けた排せつ支援をしている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・週2回の入浴で特に不満が出ていない。利用者からの要望は特にない。 ・通院や行事等で時間や日にち変更は事前に伝えている。			・現時点では利用者様から希望が聞かれない為、午後入浴で対応中。入浴拒否する方には様々な時間帯に声をかけて入りたい時に入れるように工夫している。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・横になるように休息を勧めたり、夜間でも寝付けられない方には話し相手となっている。			・利用者様の習慣を考慮しながら休息してもらっている。昼夜逆転傾向になる方にも状況に合わせて対応している。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	・薬情報ファイリングし、確認出来ているがまだ、十分に把握出来ていないスタッフもいる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・薬 box に入れる段階と手渡す段階に名前や日付、必要な薬が揃っているかを確認し、手渡す時は2人で間違いがないか本人に手渡されているか、飲み込んだか確認し、誤薬防止に努めている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・個々の話題提供時に興味のあるもの、冗談が好きな方や歌が好きな方など張り合いあるよう支援している。 ・気分転換のドライブは皆さんに好評で外に出掛ける楽しみを提供した。	・個々の役割や楽しみごとへの支援は極めて重要と要素として対応がされており支援が行われている。 ・気分転換ができるような外出行事を少しずつ再開できるようスタッフ間で意見を出し合ってもらいたい。		・入居者への話題提供時に興味のある事で気分転換もしている。冗談が好きな方や歌が好きな方など張り合いあるよう支援しているので継続中。

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・日常的に希望を訴える方が少なく、上記 35 とおりドライブ等で支援している。 ・感染対策しながら通院のお手伝いをご家族にもしてもらった。	・外出支援も重要な事であり極細かく支援が行われている。 ・コロナ禍でも気分転換ができるような外出行事を少しずつ再開できるようにスタッフ間で意見を出し合ってもらいたい。		・季節にあったドライブや一代様巡りなどを行っていたので、これからも出かけられるように支援し、通院などのご家族が協力して頂ける所は手伝ってもらうように継続する。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・所持したい方には渡している。 ・買い物や通院時に支払いを援助している。代わりに払って欲しいとの希望が多い。			・利用者様の能力に応じて支援出来ている。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・母の日の贈り物のお礼に電話したり、プライベートな会話時は席を外している。			・毎月通信を作成している。利用者様が伝えたい事等も載せていきたい。電話での会話は支援出来ているが、手紙の返信の支援が疎かになっているので、ぜひ支援したい。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ホールでは利用者様の関係に考慮した座席配置をしたり、安全に移動ができるように座席の高さをその方にあったものにしていく。 ・季節感ある飾りは良く出来ている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者様の馴染みのある季節の行事を感じてもらえるような掲示物をしたり、飾りつけを継続中。 ・居室が分かりやすいように、目印をつけたりして自立支援もしている。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・まだまだ制限された状況で思うように沿うことが出来ないで、その点を配慮した寄り添うケアを全職員で行ないたい。			・入居者様の思いや願いに沿った支援が出来るように寄り添うことを大事にしたい。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・生活歴、特徴は把握しているのでケアに活かされている。 ・アセスメントに基づき観察した情報を活かし適切な支援内容を提供出来ている。			・生活歴、特徴は把握しているのでケアに活かす事が出来ている、特徴や習慣にも配慮しているので、継続したい。 ・外にいる友人たちにもこれから会いに出かけたい。



42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・観察し気付いた内容を情報共有する事で適切な支援内容を提供できている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・適正にケアや支援が出来ていると思われるので継続しより良いケアに繋げれるように日々努力している。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・出来るだけそれまでの習慣を継続してもらうように支援している。			・グループホーム内で今まで暮らしてきた習慣を継続出来るような支援をしている。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・家に居た時の馴染みある物を持ち込んでもらうように働きかけている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・家に居た時の馴染みある物を持ち込んでもらうように働きかけ、利用者様の個性がある空間になっている。しかし、利用者様にも差があり、家具が無い方もいるので職員側で温かみのある掲示物を準備し、少しでも家庭的になるように配慮している。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・自分からの意向や希望が少ないので、季節に応じたドライブや外出を企画して参加してもらった。	・入居者様全員がドライブに参加しているのか？参加できない方には何か代替えあるのか。 ・個々の意向要望を聞き出来る限り戸外に出掛ける事を企画している。 ・自分から希望を伝えることは難しいと思うので、外出の機会をして参加を促すのは良いと思う。		・入居者様の希望や意向がなかなか聞かれないことが多くなって来ている。スタッフ側で企画して入居者様の反応が良かった物や喜んでいた物等を提供していく事も良いと思われる。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・能力に合わせた役割や余暇活動を提供し支援出来ている。 ・やってきた事はやってもらったり、やってくれる環境を作っている。			・能力に合わせた役割や余暇活動を提供し支援出来ているが、やってきた事が出来なくなる事もあり、さり気なくカバーし配慮している。
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・交流や会話のきっかけ作りを難聴や理解力に応じ支援している。 ・活動の場面を持ってもらうように時間を設けている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入居者ごとに役割ある生活を送ってもらうことで必ず活動や活躍してもらえる場面を作っている。



48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている ③ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・コロナの為ほぼ無し。	・コロナウィルス感染拡大防止を最重点としている為交流する事がほぼ無かった。		・毎年行っている交流をいつでも再開できるように計画しておき、出来ない時は繋がり(地域住民からのリング差し入れなども伝え)を実感してもらうように働きかける。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている ③ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・自由にならず不満も少なからずあると思うが安心の日々、より良い日々が送れていると思う。 ・コロナの影響で地域の人々と接する機会が減ったが感染予防も出来ており健康で将来早く、前の様な地域に出向く生活が戻れば良い。	・コロナの状況で大変だと思う。その中でも入居者さまへの対応等苦勞されていると思う。頑張って欲しい。 ・個々においてはコロナ禍の状況を察して自由に面会等も出来ず不満足と思われますが、安全安心の日々が送れていると思う。	A. 充分にできている ③ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・安心、安全、より良い暮らしが続くように皆様からの意見や助言を取り入れ、サービスの向上に努めスタッフ一同取り組んでいきたいと思います。 ・コロナ禍の感染拡大防止の中で施設では安心安全の確保、入居者とのコミュニケーション充実、プライバシーの確保等への対応へ鋭意注意配慮しており実行活動が出来ているとご意見頂く。